

## プラント状況確認結果(令和4年10月19日～令和4年10月25日)

令和4年10月26日  
福島県原子力安全対策課

令和4年10月19日～令和4年10月25日までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりであり、前回の報告から大きな変動はありません。

### プラント状況(10月25日午前11時)

以下の項目について、実施計画\*に定める制限を超える測定値はありません。

また、県の檜葉町駐在職員が福島第一原子力発電所中央操作室にてプラント状況を確認しています。確認結果はこちら([県HP](#))を御覧ください。

場所	目的	監視項目*	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量(m <sup>3</sup> /h)	3.8	1.7	3.4	—
		压力容器 底部温度(°C)	24.8	34.0	29.2	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	7.79×10 <sup>-4</sup>	検出限界値 未満	検出限界値 未満	—
压力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (体積%)	0.00	0.09	0.11	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	21.6	— <sup>※4</sup>	— <sup>※3</sup>	—

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉及び使用済燃料プールに核燃料が入っていないため冷却等は必要ありません。

※3 全燃料取り出し完了により、計測不要です。

※4 作業に伴いデータが欠測してます。安全性に影響はありません。

### (1) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(10月25日午前10時)

最小 0.332(MP-6)～最大 1.035(MP-4)μSv/h ⇒[計測地点の地図](#)

### (2) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(10月24日採取分)

最小 検出限界値未満 ※検出限界値は約0.39Bq/L(物揚場前)

～最大 4.1Bq/L(遮水壁前)

⇒[計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(10月24日採取分)

5、6号機放水口北側：検出限界値未満 ※検出限界値は約0.85Bq/L

南放水口付近：検出限界値未満 ※検出限界値は約0.81Bq/L

⇒[計測地点の地図](#)

### (4) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果

敷地境界に設置されている連続ダストモニタにより24時間連続で監視しております。測定結果はリアルタイムで公開されていますので、こちら([東京電力HP](#))を御覧ください。

(5) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(10月21日採取分)

最小 検出限界値未満 ※検出限界値は約 5.2 Bq/L (6号機)  
～ 最大 2300 Bq/L (2号機)

トラブルの概要(令和4年10月19日～令和4年10月25日)

この一週間におけるトラブル等について、東京電力から以下のとおり報告を受けました。

■ 2、3号機間道路の坂道における油の漏えい跡の発見について

10月20日午前11時3分、発電所構内2、3号機間道路の坂道において、油の漏えい跡があることを当社社員が発見しました。

状況は以下のとおりです。

- ・漏えい範囲 約3m×5m
- ・拡大防止処置 確認中
- ・漏えい継続の有無 なし
- ・双葉消防本部への連絡時刻 11時17分

本事案については、富岡消防署により「油漏れ事象」と判断されたことを午前11時51分に確認しました。

なお、油漏えい跡については、吸着マット等による処理を午後0時36分に完了しています。

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) ご覧ください。

■ 10月21日に発生した茨城県沖を震源とする地震後の状況について

10月21日午後3時20分頃、福島県沖を震源とする地震が発生しました。

(気象庁発表)

(双葉町：震度4、大熊町：震度4、楢葉町：震度5弱、富岡町：震度4)

地震後の状況については添付をご確認ください。

■ J2エリア南側の外堰から道路に向かっての水の漏えいについて

10月24日午前9時48分頃、J2エリア南側二重堰の外堰から道路に向かって水が漏えい(滴下)していることを協力企業作業員が発見しました。

状況は以下のとおりです。

- ・発見時刻 午前9時48分頃
- ・発生場所(設備名称) J2エリア南側
- ・漏えい箇所 二重堰の外堰
- ・発見者 協力企業作業員

なお、モニタリングポスト、排水路モニタ、敷地境界連続ダストモニタ、側溝放射線モニタに有意な変動がないことを確認しております。

現場にて内堰と外堰の間の漏えい箇所付近を止水セメントで隔離したところ、漏えいが止まったことを確認しました。

また、タンク水位、内堰水位に変動がないことを確認したことから、内堰からの漏えいはなく漏えいした水は雨水であると判断しました。

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) [\(3\)](#) ご覧ください。

#### \* 実施計画及び監視項目に関する解説

##### ○実施計画

正式名称は「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画」。東京電力の廃炉の取組（設備設置含む）について、原子力規制庁が安全性の審査を行い認可したもので、事業者の安全上守るべき基準値等が示されています。

##### ○注水量及び圧力容器底部温度

1～3号機の原子炉格納容器内に存在する溶け落ちた燃料（燃料デブリ）を冷却するため、継続的な注水を行っています。実施計画では原子炉圧力容器の底部温度を80℃以下で管理することを定めています。

##### ○キセノン 135 濃度

キセノン 135 はウランが核分裂する過程で生じる放射性物質であり、量によってどの程度核分裂が起きているか推定することができます。実施計画では1 Bq/cm<sup>3</sup>以下であることが定められています。

##### ○窒素充填及び水素濃度

水素爆発防止を目的に、原子炉内の水素濃度を測定し、実施計画に定める制限値（2.5%）よりも低いことを確認しています。1～3号機では、原子炉格納容器に窒素を注入することにより水素や酸素の濃度を下げています。

##### ○水温

使用済燃料プールの水を循環冷却することにより、プール水温を管理しています。なお、実施計画では60℃（1号機）または65℃（2、3号機）以下で管理することが定められています。

（お問い合わせ 024-521-7255）

## 地震発生後の福島第一原子力発電所の状況

日付	公表内容
10月21日	<p>福島第一原子力発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平：29.1ガル、垂直：20.6ガルでした。</p> <p>現在のプラント状況は以下の通りです。(午後3時40分現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～6号機設備プラントパラメータ 異常なし</li> <li>・滞留水移送設備・水処理設備パラメータ 異常なし</li> <li>・原子炉注水設備(1～3号機) 運転継続</li> <li>・使用済燃料プール冷却設備(1、3、5、6号機、共用プール) 運転継続 <ul style="list-style-type: none"> <li>※4号機は地震発生前から停止中</li> <li>※2号機は点検のため、停止</li> </ul> </li> <li>・モニタリングポスト指示値 有意な変動なし</li> <li>・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 有意な変動なし</li> <li>・構内線量表示器指示値 有意な変動なし</li> <li>・構内排水路モニタ 有意な変動なし</li> </ul> <p>福島第二原子力発電所内で観測された地震加速度の最大値は、1号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平：76.8ガル、垂直：44.0ガルでした。</p> <p>現在のプラント状況は以下の通りです。(午後3時36分現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転状況(1～4号機) 全号機廃止措置中</li> <li>・使用済燃料プール冷却系の状況(1～4号機) 運転継続</li> <li>・使用済燃料プールの状況(1～4号機)(溢水・漏洩) 確認中 <ul style="list-style-type: none"> <li>(監視カメラにて燃料プールからの溢水無し確認)</li> </ul> </li> <li>・放射線を監視している排気筒放射線モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響は確認されていません。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各プラントの点検状況 <span style="float: right;">継続中</span></li> </ul>
10月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区分Ⅲのパトロールが本日（10月22日）午前9時3分に完了し、設備に異常がないことを確認いたしました。</li> <li>・なお、地震の発生を受けて、滞留水移送設備及び水処理設備を停止しておりましたが、これらの設備についても異常がないことを確認できたため、全ての設備について本日午前11時1分までに運転を再開しております。</li> <li>・また、運転を再開した全ての設備について、現場に異常がないことを本日午前11時5分までに確認しております。</li> </ul> <p>福島第二原子力発電所の続報は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震後のパトロールは、昨日（10月21日）午後7時14分に全て終了し、パトロールの結果、異常は確認されませんでした。</li> <li>・なお、本地震による外部への放射能の影響はありません。</li> </ul>